



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和6年9月20日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思い合い」

一致団結し、最高の運動会にしよう！

二学期がスタートして3週間が経ちました。9月29日に迫った「吉美地区市民大運動会」に向けて「一致団結し、最高の運動会にしよう！」というスローガンの下、先週から6年生を中心に色活動・応援練習、低高別の表現練習、各学年の種目練習をしています。9月に入っても猛暑が続いており、熱中症予防のため、屋外（運動場）での練習を中止にしたり時間を短縮したりしながらの練習になっていますが、当日は練習の成果を活かし、135名の「一致団結」した姿、一生懸命な姿を是非ご覧ください。そして、お子様が帰宅されましたら大いに頑張りを褒めてあげてください。児童、教職員、保護者の皆様、地域の皆様にとって「笑顔」溢れる運動会になることを願っています。

昨年度同様、草のない運動場（せめてトラック付近は…）で運動会に参加させたいという思いがあります。環境が整うことで、子どもたちの意欲になればという思いです。今年度は夏にPTA美化作業で草引きをしていただいたおかげで、昨年の今頃よりずいぶん草が少なくなりました。「あんまり変わらんやろ。」と思われる方もおられるかもしれませんが、そんなことはありません。夏の草引き作業、本当にありがとうございました。また、休みの日には地域の方にも草引きをしていただき、本当にありがとうございます。後は、29日までにできる限りの美しさに仕上げたいと思います。

校長 塩尻 竹弘

運動会の思い出

運動会が近づくと必ず思い出すことがあります。5年生の時、徒競走でこけてしまい1位になれず、挽回しようと頑張った演技走で「ルール違反（ルールを理解していなかった）」で失格になったことです。その後、悶々としながら用具出しの担当活動をしていました。その様子を見ておられたのか、6年生の担任の先生が「もう終わったことは仕方ないなあ。まだリレーもあるし、応援合戦もあるし。頑張れ。」と一言声をかけてくれました。何か、救われた気持ちになり、その後、何とか運動会に参加することができました。

45年以上前の話です。でも未だに鮮明に覚えています。きっと運動会は子どもである私にとっては「特別」なことだったのだと思います。9月29日の運動会は子どもたちにとって、喜びだけでなく悔しさも含めて、大きな思い出の1ページになることを願っています。（塩尻）

きみっこ応援団会議

9月13日、「きみっこ応援団」合同会議が学校で行われました。「第17回吉美小元気まつり」の反省と来年度への引継ぎ事項の確認、そして、お世話になっているクラブ活動の計画、また、ふるさと先生（生活科・総合的な学習の時間）に関わる予定の確認をしました。元気まつり当日に参加していただいた方々の感想は、来年度も頑張ろうという気持ちにさせてくれるものはかりでした。ありがとうございました。



運動会の歴史は吉美小学校の歴史と同じく150年前から…

運動会は、明治7年（1874年）に海軍育成学校で、イギリス人の教官の指導の元に行われたと言われています。イギリスで行われていた労働者向けの体育行事（Athletic Sport）を和訳して「競闘遊戯会」という名称で、子ども向けではない形で始まったそうです。それが大学へと広がり、明治8年、東京大学ではじめて「運動会」という名で行われたそうです。はじめは「大人の体力比べ」みたいな感じだったようですが、明治10年頃から学校教育の一つとして、『集団としての連帯感や結束』『精神の鍛錬』のための道具として、児童向けの運動会が開催されるようになりました。当時も、今と同じく徒競走や二人三脚などの種目があったそうですが、「豚追い競走」「卵拾い競走」といった種目もあったようです。

また、定番とも言える運動会や体育の時間に被る『紅白帽子』のルーツは（吉美小は今、赤・青・黄）、源平合戦からきているという説があります。平家が赤い旗（赤旗に金の丸）、源氏が白い旗（白旗に赤い丸）を掲げて戦ったことから、二手に分かれて競技する様子を赤と白の帽子に表現したという説です。運動会の背景には、長い日本の歴史が関係しているということです。